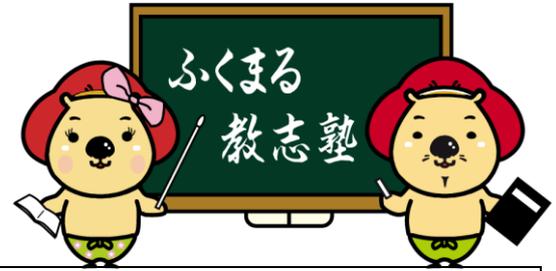


第8回

ふくまる夢たまごセミナー



日時	12月13日(金) 18:00~20:00
場所	市庁舎7階 大会議室
内容	【前半】「パネルディスカッション」 未来の先生から Q uestion! ~学校園現場にまつわる様々な疑問・質問に事務局が A nswer! ~ 【後半】「幼児期の遊びを通じた学びとは」 ~学びや生活の基盤をつくる幼児教育を未来(学童期・青年期)につなぐ~ 講師 福川 里実 氏 (池田市立認定こども園あおぞら幼稚園 副園長)

今回のセミナーの前半は、事前に塾生から寄せられた学校園現場にまつわる疑問・質問に対して、事務局(加藤セミナーアドバイザー・中野副主幹・梶田指導主事)の3名がパネラーとなり、これまでに培ってきた経験や体験をもとにしながら真摯に答えるという「パネルディスカッション」を行いました。「現場にいた頃、睡眠時間はどれくらいでしたか。」「どのくらいの時間を教材研究にあてられていましたか。」「学習指導案の作成にあたり、意識していたポイントは?」「子どもと話す話題作りのために流行りのアニメや漫画などはチェックするようにしていましたか。」等、塾生は、パネラーの造詣(ぞうけい)が深い意見に対し、メモを取りながら真剣に話を聞いていました。



『遊びの中で子どもたちが育つ力とは…』

セミナーの後半は、池田市認定こども園あおぞら幼稚園の副園長である福川先生から、現在の子どもの幼稚園生活における、日々のさまざまな活動の様子が写真や動画で紹介されました。その紹介された子どもたちの活動に取り組む様子が何を意図としているのか、そして、今後どのような学びにつながっていくのかという視点について、丁寧に教えていただきました。幼児教育の見方・考え方についての示唆にあふれた話が、「遊びの中にあるさまざまな学びの芽」を浮かび上げらせ、塾生の心にも響いたようです。



○小学校教育

- ・各教科ごとによる授業
- ・小学校学習指導要領
各教科等における目標及び内容

○幼児教育

- ・遊びを通した総合的な指導
- ・幼稚園教育要領
5つの領域からなる「ねらい」と「内容」
(健康・人間関係・環境・言葉・表現)

<塾生の感想から>

- 幼児教育には、幼児が思わず関わりたくなる意図や工夫、環境を整えてあげることが大切であるということ、そして「遊び」にはたくさんの「学び」があることを理解しました。映像を通して、幼児は「遊び」の中で様々な感覚を掴んでいることが分かりました。
- 今日のセミナーで特に印象に残ったことは、幼児期に培われた遊びや生活習慣が小学校での学びにどのようにつながるのかという具体的な事例です。幼児期の学びの土台は遊びで、遊びの中で子どもたちが育つ力は、保育者の声かけの仕方や環境構成など、関わり方一つひとつの働きで変わってくると思いました。
- 子どもの遊びを見つつ、もっと面白くできないかな、これを継続するにはどうしたらいいのかな、と、考えていくことが幼児教育の教材研究というお話を聞き、特別支援教育にもつながりそうな視点だと感じた。また、子どもの感じたことを小学校以降に言語化して説明する感覚を、遊びの中でつかんでいるのが幼児教育期と知り、改めて、学びはつながっていると感じた。
- 子どもたちが自由に遊んでいる様子を動画で視聴する中で、言語化が上手くできていないものの問題を見つけて「こうしてみたらどうだろうか」「これは何がダメだったのか」など、さまざまな問題解決にとりくもうとしている姿がありました。子どもたちにはもともとこのような問題を解決していく力があり、それを各教科・領域の学習と結びつけ、明確に言葉で説明できるようにしていくのが、小学校や中学校の教師の役割だと思いました。幼稚園や保育園からのバトンを受け取って今後も教材研究などをしていきたいと思います。

